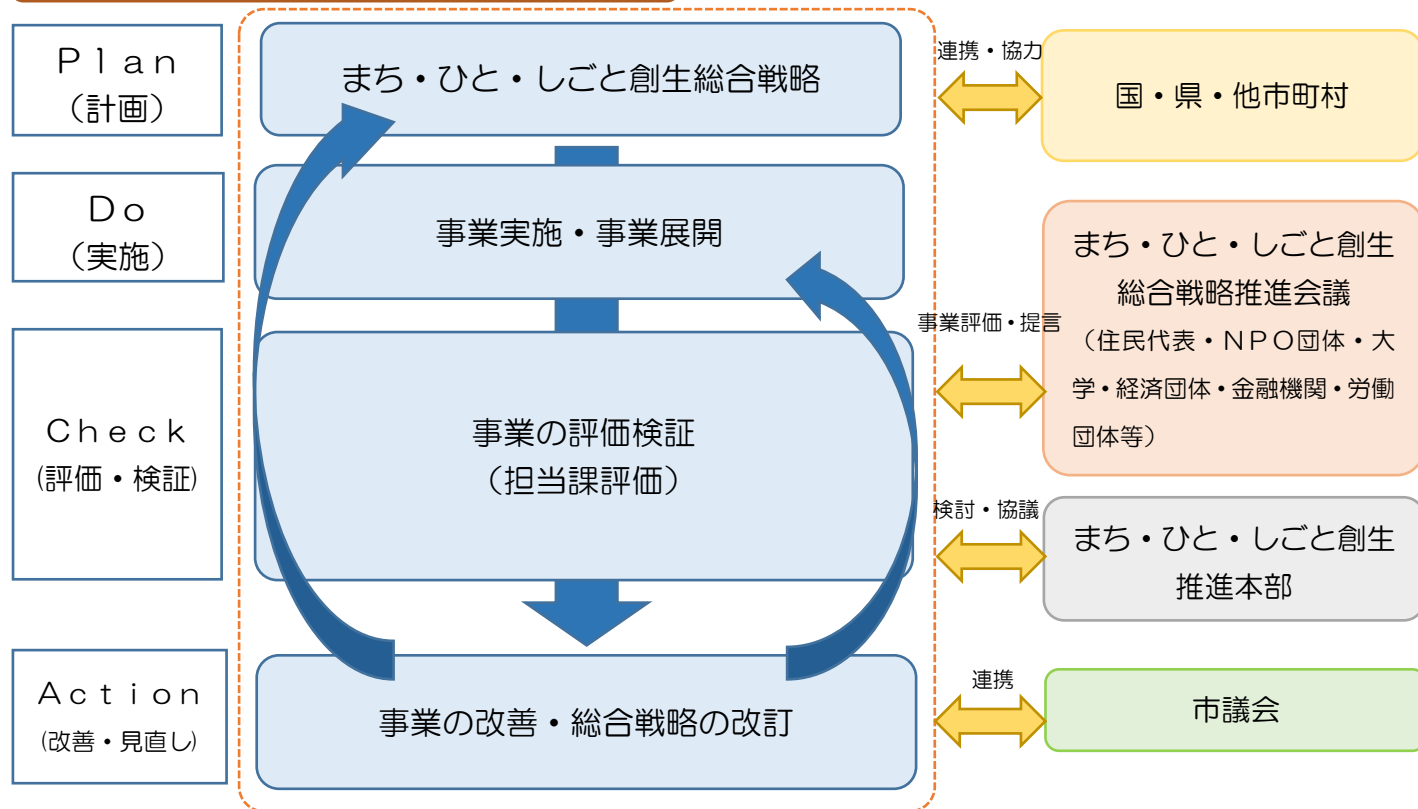


（単位：項目）

基本目標／委員評価	A評価	B評価	C評価	D評価
基本目標 1	3	10	1	0
基本目標 2	2	12	2	0
基本目標 3	5	6	6	1
基本目標 4	2	7	1	0
全体（合計）	12	35	10	1

PDCAサイクルの構築と推進体制



会議の開催状況

【まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議】

開催日	会議名	内容
令和元年7月10日	令和元年度第1回会議	平成30年度総合戦略掲載KPI実績に係る評価検証①（基本目標1～2） 基本目標における数値目標の達成状況
令和元年7月17日	令和元年度第2回会議	平成30年度総合戦略掲載KPI実績に係る評価検証②（基本目標3～4） 地方創生推進交付金活用事業に係る評価検証 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）活用事業に係る評価検証

石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
事業達成状況（平成30年度実績）

進捗管理及び総合戦略の改訂

平成27年12月に策定した「石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、少子化に伴う人口減少や東日本大震災による人口流出を阻止するため、地域課題に基づき設定されたKPI等の達成状況を確認し、総合戦略の進捗の検証と改善を行っていくPDCAサイクルを確立することとしている。

外部委員で構成する「まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」による施策効果の評価や進捗状況の検証を行い、庁内のまち・ひと・しごと創生推進本部や市議会への説明を行っている。また、必要に応じて総合戦略を改訂している。（平成28年12月に改訂）

重要業績評価指標（KPI）評価検証方法

KPIについて、事業実績と改善点・工夫点の2つの視点で、個別に◎、○、×の3段階で評価をいただき、評価の中で最も多かった意見を基に総合評価を算出した。なお、事業実績と改善点・工夫点の評価基準及び総合評価算出表は以下のとおり。

【事業実績、改善点・工夫点の評価基準】

評価	事業実績	改善点・工夫点
◎	目標以上に進捗しており、継続して事業を推進する。	改善点もしくは工夫点について非常に評価できる
○	ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。	改善点もしくは工夫点について評価できる。
×	目標を下回っており、要因の分析と事業内容の見直しを要する。	改善点もしくは工夫点について見直すべきである。

【総合評価算出表】

事業実績／改善点	◎	○	×
◎	A	A	B
○	A	B	C
×	B	C	D

### 基本目標 1 東日本大震災からの復興まちづくりを早急かつ着実に進める

No.	主な重要業績評価指標（KPI）	H30 目標	H30 実績	委員評価		委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
6	観光交流施設の来場者数 1,000,000 人/年	1,000,000 人 /年	1,215,235 人 /年	実績 ◎	○	A	観光交流施設の来場者が増えることにより周辺で交通渋滞が起きていると感じることがある。工事関係が進み、南浜方面からの大型車両の乗り入れが、早めに可能になることを望む。	道路整備等については、関係部署とも連携しながら、滞ることのないように引き続き進めてまいりたい。
				改善点 ○				
7	中心市街地定住人口 3,812 人	3,500 人	2,872 人	実績 ○	○	B	定住人口の増加・維持を図るのは良いことだが、車社会の中で、中心地に人口の増加・維持を図るメリット、ねらいは何か。	本市の中心市街地活性化基本計画では、安全で安心して歩き、暮らすことのできるコンパクトなまちづくりを推進することとしている。コンパクトなまちとなることで、行政サービスや医療機関を効率的に提供・享受することができ、また、車の運転をしなくても歩いて買い物ができるようになる。そのような中で地域のコミュニティが形成され、地域住民が生き生きと暮らすことができるようになり、中心市街地がより活性化していくものと考えている。
				改善点 ○				
13	海岸保全施設整備事業完成率 40%	33%	25%	実績 ○	○	B	漁業者（従事者）が利用しやすい環境になるよう考慮されたい。	海岸保全施設は震災以前とその位置は変わらないものの、高さが増していることで、震災以前と比べて利用しやすさに差が生じる可能性は少なからずあるものと思料しており、設計段階で一定の検討はしているが、利用実態をみながら海岸保全施設や漁港施設の改善、改良について、今後、検討してまいりたい。
				改善点 ○				

### 基本目標 2 人材を育成し安定した雇用を創出する

No.	主な重要業績評価指標（KPI）	H30 目標	H30 実績	委員評価		委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
20	石巻地区勤労者福祉サービスセンター会員数 3,500 人	3,300 人	2,675 人	実績 ○	×	C	魅力ある事業展開を進めるために、市単独でも事業費の増額を行っていただきたい。	事業費の増額については、会員数の動向や石巻圏内の雇用情勢、経済情勢等を鑑み、適時検討してまいります。
				改善点 ×				
21	創業・第二創業件数 （H27年度～H31年度累計） 95 件	76 件	146 件	実績 ◎	○	A	これまでにどのような事業が創業したのか、またそこに雇用が発生したというような事例はあるのか。	これまでに、サービス業、建設業、飲食業、医療福祉、宿泊業、児童福祉など、さまざまな業種が創業している。創業した方のみで行っている事業もあるが、基本的にはそこに1人から2人の雇用が生まれている。
				改善点 ○				
25	農林水産業新規就労者数 （H27年度～H31年度累計） 20 人	17 人	28 人	実績 ○	○	B	実績は良好だが、農林に関しては体制や施策を早期に見直して軌道修正すべきではないか。	農業宿泊体験や農業の勉強会をしており、交流人口から何度も受講することでの関係人口を増やし定住人口につながるような取組みを令和元年度から始めており、口コミや SNS 等を活用しながら就農に結び付くよう努力していく。
				改善点 ○				

### 基本目標 3 絆と協働の共鳴社会をつくる

No.	主な重要業績評価指標（KPI）	H30 目標	H30 実績	委員評価		委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
37	地域包括ケア研修会延参加者数 1,000 人/年	1,000 人 /年	2,028 人 /年	実績 ◎	○	A	専門職、多職種に向けた研修会を行ったのか。また、アンケートでニーズを把握し、それを生かした工夫を行っているのか。	平成30年度は専門職、多職種向けの研修を3回実施し、その都度アンケートを取り、今後希望する研修会の把握を行っている。令和元年度は夜間の研修に参加しにくい方のために、夕方1時間の研修を設定した。また、30分ミニ講話、30分フリートークのカフェスタイルで行い、気軽に参加できる雰囲気づくりを行っている。
				改善点 ○				
41	旧石巻ハリストス正教会教会堂 来館者数 5,000 人/年	2,500 人 /年	0 人 /年	実績 ×	○	C	中瀬公園が整備されるのを待つのではなく、できるところから施工してほしい。	周辺の盛土工事が令和2年度に行われることとなったので、仮の見学通路（アスファルト）を設置し、令和元年8月2日より一般公開を開始した。盛土工事後、外構工事を予定している。
				改善点 ○				
48	市立高校の生徒が本市に住み続けたいと思う割合 70%	70%	61.8%	実績 ○	○	B	地元で就職・結婚・出産した方と話す機会など、石巻で暮らす幸福感が伝わる場があると良いと思う。	桜坂高校では、「まちなかボスタープロジェクト」（1学年）、「さくらプロジェクト（インターンシップ）」（2学年）を通して、地元の事業所から学ぶ機会を設定しているとともに、3学年では「親教育」を行い、外部指導者から出産・育児等について学んでいる。引き続き、地域理解の学習機会を確保し、石巻市の良さを深く学び、石巻市のまちづくりについて自ら考える資質・能力を育成したい。
				改善点 ○				

### 基本目標 4 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

No.	主な重要業績評価指標（KPI）	H30 目標	H30 実績	委員評価		委員質問・指摘事項等	質問・指摘事項に対する回答・対応	
53	「育児や家事の役割」について 「夫婦同様」との回答割合 （H31年度末） 70%以上	66%	57%	実績 ○	○	B	会社や社会が変わらないと、個人レベルでワークライフバランスを考えることは難しいというパパが多い。	同様の意見を、市民意識調査等でいただいている。子育て世代と年配層の意識ギャップについては各調査の年代別集計で出ていることから、会社や社会が変わるには、影響力のある層の考え方が変わる必要があると考え、意識改革を促すための啓発研修を実施していく。
				改善点 ○				
54	「女性のチカラを活かす企業」認定数 30 件	27 件	17 件	実績 ×	○	C	県に任せるだけではなく、石巻市としての対応策を示してほしい。	地元への情報提供は石巻市、認証に向けた支援や社会保険労務士派遣等の具体的な支援については宮城県と、県との役割分担を意識しながら推進をしていく。
				改善点 ○				
59	授業が分かったと感じている児童生徒の割合 85%	85%	88.1%	実績 ○	○	B	学力との比例はどうなっているのか。授業が分かった児童は、結果として基礎学力も高くなるものと思うが、それはどうなのか。	教師が「分かりやすい授業」を心がけているという評価にはなる。課題としては、児童生徒が「分かった」と実感していても、「分かったつもり」になっていて、定着までに至らないことであると認識している。
				改善点 ○				